

会長挨拶

日頃より、一般社団法人大阪兵庫生コン経営者会に対し各方面より多大なご配慮ご支援を賜っております事に深く謝意を表します。

当会は関西生コン関連業界の健全な発展の為に、労使の窓口として様々な課題、問題に取り組んで参りました。ここに至るにおきましては、関係各位の皆様のご助力、並びにご支援の賜物である事を改めて肝に銘じ、今後とも精進して参ります。

さて、ご周知の通り、現在の関西生コン関連業界を取り巻く状況は不安定なものになっています。

生コン産業が安定的に発展する為には、労使関係の正常化及び協力関係の構築を図る事無しには望めません。例えるならば、経営者と労働者の関係は車両における両輪の関係です。お互いに適切な間隔を保ち、同じ方向を向いていなければ決して前に進む事はできません。経営者と労働者が一緒に更に良い方向に向かって進む。それにより業界が良くなる。これこそが健全な発展であると考えます。

ところが、当会や、当会の友好団体を解散させたり、加入している社に、正に優越的地位を乱用し圧力を掛け脱退させるなど、この様に業界が不安定の最中ですが、当会の行動、趣旨に賛同して頂き、ご支援いただく声も関連団体の方々から数多く頂戴しており、その中から当会に加入して頂いた団体もごございます。また、新たに当会の趣旨に賛同して頂ける経営者の方々の加入もあり、更に賛助会員として参画の動きまでも出てきています。これで分る様に経営者会の正しい活動は広く浸透しているのです。

さて、平成 31 年 1 月 28 日、経営者会の事務所を新大阪に移転しました。移転の大きな理由の一つは、関西生コン関連業界における経営者会の「中立性」の維持という面です。

また、中小企業等協同組合法においては、その基準及び原則として組合員又は会員の相互扶助を目的とすること。組合は、その行う事業によってその組合員に直接の奉仕をすることを目的とし、特定の組合員の利益のみを目的としてその事業を行つてはならないと明記されています。

当会としては、法令遵守に基づく行動が業界における社会活動、企業活動の大前提であると考えます。引き続き、会員社は勿論の事、各関係団体に対してもコンプライアンス遵守の徹底を強く働きかけて参ります。

最後に、私ども経営者会は役員は勿論、会員全体の意思を大切にし、連携と結束の強化を図り、業界の安定化に向け全力で取り組んでまいります。

以上

2019 年 4 月 1 日

一般社団法人 大阪兵庫生コン経営者会
会長 門田盛男

追記

大阪広域生コンクリート協同組合ホームページにて平成 30 年 9 月 12 日付で掲載された『9 月度 対策本部長のご挨拶』の中で、当会が“連帯労組の集金窓口団体と化している”という旨の記載がございましたが、そのような事実は一切ございません。

※文書・画像等の無断転載・複製等を固く禁じます。